



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED 1980



2016年 9月 No.429

Joan Wilson(カナダ) 国際会長主題:「Our Future Begins Today」[私たちの未来は、今日から始まる]

Tung Ming Hsiao (台湾) アジア会長主題:「Respect Y 'Movement」[ワイズ運動を尊重しよう]

利根川恵子(川越) 東日本区理事主題:「For the Future, Act Today!」[明日に向かって、今日動こう]

片山 啓 (茨城クラブ) 関東東部部長主題:「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

辰馬行男 東京北クラブ会長主題:「義務を果たし、実りあるワイズ活動を、そして楽しく」

会長; 辰馬行男 副会長; 村杉克己 書記; 村杉克己 書記; 金 秀男 会計; 磯部成文 担当主事; 小松康広

今月の聖句

箴言 14章34節

『正義は国を高め、罪は国民をはずかしめる。』 金 秀男会員

第546回 例会プログラム《ユース》

日時 2016年9月21日(水) 18:30~20:30
 会場 日本キリスト教団浅草教会 台東区西浅草3-4-5
 受付 金 秀男
 卓話「YMCA キャンプについて」
 神保伊和雄氏 (東京むかでクラブ)

ハッピーバースデイ
 30日金 聖愛
 ウェディング・アニバーサリー
 9日 山根一毅・明都

『9月第二例会報告』

村杉克己書記

日時: 2016年9月7日(水) 18:30~17:30
場所: 浅草文化観光センター 4階小会議室 (浅草雷門前)

1. 第一例会プログラム

- ①第547回2016年10月19日(水)《EMC/E》
卓話「未定」
- ②第548回2016年11月16日(水)《ワイズ理解》
卓話「未定」

2. 報告及び協議事項

- ①部ユース事業主査より～ユースをテーマとした例会を持つ
2017年3月15日(水) 清泉YMCA 報告に決定
青木一芳 関東東部ユース事業主査出席
- ②東京YMCA 夏祭り報告8月27日(土) 裏面掲載
- ③第30回記念チャリティーラン9月22日(木・祝)
木場公園 10:00~ボランティア登録 FAX 済み
東京北クラブは8:30集合
- ④「関東東部20周年記念部会」10月15日(土)13時~15時
場所: 筑波国際会議場(部会)、ホテルグランド東雲(懇親会)
会費 4,000円 懇親会での発表・新春浅草歌舞伎、出席確認
- ⑤11月13日(日) 興望館デー
出席者: 磯部・幸子、小松、辰馬、村杉一榮。

「第545回8月例会報告」

神谷邦子会員

日時: 8月17日(水) 18:30~20:30

場所: 神谷バー3階 割烹神谷



例年村杉メンバーの邸宅屋上で開催していた納涼例会だが、村杉メンバー

の急病手術のため神谷バーでの例会となった。
 ワイズ入会以来50年近く無欠席だった村杉メンバーを欠いての例会は初めてのことで淋しさは拭えなかった。またリオオリンピック中でもあり磯部メンバーのフットマーク(株)所属の水泳金藤理絵選手の金メダル獲得におめでとう!の声があがった。ゲスト・ビジターの紹介では、公式訪問の片山啓(茨城クラブ)関東東部部長が「組み合わせられ結び合わされて造り上げられてゆく」の部長主題のもと今年度の活動方針や理事方針に沿った合理的な部の運営等について挨拶された。青木一芳(千葉クラブ)ユース事業主査はこの一年間のどこかでユースを冠した時を持って報告してほしいと強調された。また柳瀬久美子(茨城クラブ)国際交流事業主査は古切手収集とマラリア撲滅のために一人用の蚊帳を贈る話をされた。納涼の宴がはじまり松花堂弁当に辰馬会長奢りの料理が並んだが今回は飲み助が少なく料理をゆっくり堪能し、ニコニコ一言でそれぞれ近況報告のあとビンゴゲームで盛りあがった。
 出席者: 磯部・幸子、神谷、篠沢、辰馬、村杉一榮。
 ビジター: 片山啓、柳瀬久美子(茨城クラブ)
 青木一芳(千葉クラブ)
 清泉YMCA: 春原桃子、中野佑紀。

8月在籍者		8月出席者		8月出席率	BF等ポイント	ニコニコボックス
会 員	10名	会 員	6名	60%	8月分	8月分
広義会員	0名	メネット	0名		切手	
合 計	10名	コメット	0名	メイクアップ	0円	本年度累計
		ビジター	3名	0名	本年度累計	本年度累計
		ゲスト	2名	月修正出席率	切手	28,200円
		合 計	11名	60%	現 金	8,000円

随筆 「熊本地震を経験して」

山根一毅会員

「まさか、熊本でこんなに大きな地震が起きるとは思っ
 てはいなかった」これが熊本に暮らす大半の人々、熊本で暮らす
 私の家族、そして私自身の思いです。阪神淡路、新潟、そし
 て東北。被災地に足を向けたこれまでの私にとって、それは
 すでに発災後のことであり、そして何よりも「自分事ではない」
 災害でした。常に自分の日常とは少し離れたところで起
 き、時間が流れ、いつの間にか過ぎ去るもの。そしてまた、
 どこかで別の災害が起き、そこに足を運ぶ。生まれ故郷で起
 き、偶然にも「本震」に遭遇した熊本地震は、そのような私
 の「想定内」を大きく覆した経験でした。それはトラウマと
 言えるのかも知れません。約2ヶ月の熊本県益城町総合体育
 館での支援活動を終え、再び千葉に暮らし東京で働く生活に
 戻った私にとって、「首都直下型地震」はいつでも起こり得る
 ものとなりました。今この



のようにして自宅
 でコンピュータに向かう
 今でも、あの想像を絶する
 揺れが襲いかかり、椅子か
 ら1メートルも投げ飛ばされる可能性がある。通勤途中の工事現場の高く
 組み立てられた足場は、崩壊して頭の上に降りかかる恐れがある。
 つまり災害は、どこかで起きるものではなく、「ここ」で起きるものとして私の意識の中に存在するようになったのです。
 いつあの恐怖と緊張に再び晒されるのでしょうか。しかし一方で、私は今回の経験から「備える」ことの大切さも学びました。そして、この社会に暮らす様々な技術や経験をもった人々が協力すれば、災害を乗り越えることができることを知りました。地球の誕生以来、生命を脅かす様々な自然現象を乗り越えて、今も豊かな生命が存在しています。この地球上の生き物はそんなに柔じゃない。私たち人間も、生き続ける力を持っているはずで

「東京YMCA 夏まつり2016年」報告

辰馬行男会員



8月27日(土)11:30
 山根さん所属の「ザ・ドリームスクエア・ジャズオーケストラ」のオープニング演奏で開会、今年
 は蒸し暑く生ビール・缶ビール・ソフトドリンク・生茶な

ども売り上げ好調、午後2時ごろまで頑張りました。今年も
 小仁さん、菅谷さん、清泉YMCA 学生7名、にほんご学院の学生3名も参加してくれました。
 ジャズオーケストラのアンコール曲ヤングメンでは盛り上がり、お楽しみ抽選会では東京
 北クラブはお米とコーヒーメーカーが当たり無事終了しました。今年の東京北クラブの収益金は19,000円、東京YMCAの
 収益金は63万円程でした。

参加者：神谷、小仁、小松、菅谷、辰馬、村杉一榮、山根
 清泉YMCA：中村萌、三宅優子、春原桃子、初村有稀子
 本條葉月、高山由梨佳、中野佑紀

++++ 清泉YMCA 便り +++++ 1年 高山由梨佳さん

東京都江東区東陽町の東京YMCA 東陽町センターで、夏祭りが開催され、私たち清泉YMCA はお手伝いに行かせて頂きました。会場では、東京YMCAの職員の方、ワイズメンズクラブの方、東京YMCA 高等学院の方、YMCA 日本語学校の方など、大勢の人が協力してお祭りを準備していました。私たちは、YMCA 日本語学校の生徒さんで、ベトナム人である方と一緒に、ビールとソフトドリンクを売りました。お祭りには、様々な年代の方が来てくれました。普段なかなか交流できない外国人や、小さな子供やお年寄りとお話できて、夏の楽しい思い出となりました。

**** 興望館便り **** 五十嵐美奈さん****

「キャンプを終えて」

今年ものべ177名の子供が参加したキャンプ事業。1年生に感想を聞くと、「キャンプファイヤーできたよ」「星空探検で大きな三角形を見たよ」と声があがります。近年は、暑さ・豪雨への備えや、食物アレルギー、喘息などの保健対応が必要です。看護師の同行、投薬管理のための書類整備などリスクマネジメントの観点も増えています。それでも、子どもたちの成長と結束力を目の当たりにすると、重要な事業であることを実感します。10月8日は曳舟小学校でプレイデー(運動会)です。夏の成果を見にいらしてください。

YyYyYyYyYyYyYy YmCa ニューズ YyYyYyYyYyYyYyYy

- 8月8日、江東区児童・高齢者総合施設「グランチャ東雲」が利用者累計100万人を達成した。江東区関係者も訪れる中、100万人目の利用者となられた方には花束を贈呈。当日の様子は江東ケーブルTV「ワイドスクエア」でも放映された。高齢者と親子連れの「三世代交流」も盛んなグランチャ東雲には、1日約550人、年間で20万人の地域住民に利用されている。
- 8月27日、「東京YMCA夏まつり」が開催された。海鮮焼やかき氷などの各模擬店、子どもゲームコーナーなどが出店し、例年と変わらず大賑わいであった。にほんご学院の留学生や、高等学院・libyの生徒たちも模擬店を手伝い、若い方々の活躍もあり約60万円の益金を得ることが出来た。
- 9月22日、「第30回インターナショナルチャリティーラン」を都立木場公園にて実施する。30周年となる今年は、大会アンバサダー(大使)として、バレーボール元日本代表の川合俊一さんも来場予定。30年間欠かさずに開催し、これまでのランナー数は累計11,226人、参加チームは延べ1866チーム、支援金は1億8千万円を越えており、今年も賑やかな会となることが期待されている。
- 10月8日～10日、YMCAに関わるすべての人を対象に「第19回日本YMCA大会」が東山荘にて開催される。YMCAの活動の原動力となるユースと、良き理解者/メンターであるシニアが、未来のYMCAを深く語り合い、互いに学び合うことが出来る場を目指して、世界YMCA同盟チェンジ・エージェントやアジア・太平洋YMCA同盟ユース・レプス、同盟ユース委員等のユースが中心となり現在準備を進めている。

5. 今後の主な行事日程

第30回インターナショナルチャリティーラン

9月22日 (都立木場公園)

第33回会員ソフトボール大会10月10日(出版健保グラウンド)

(小松康広担当理事)

YyYyYyYyYyYyYyYyYyYy YyYyYyYyYyYyYy YyYyYyYyYy